

福島県鮫川村における農林業系副産物等処理実証事業の主灰コンベア破損事故の再発防止対策について（お知らせ）

平成 25 年 10 月 25 日
環境省指定廃棄物対策チーム

環境省では、福島県鮫川村における農林業系副産物等処理実証事業において、8月29日に発生した主灰コンベア破損事故について、9月2日に原因調査の第一次報告、9月25日に原因調査結果及びこれを踏まえた再発防止対策（案）を取りまとめ公表するとともに、鮫川村仮設焼却炉監視委員会等への説明を行いました。

鮫川村仮設焼却炉監視委員会において、徹底的にリスクを抽出し、再発防止対策を充実させるべき等のご意見があったことを踏まえ、今般、環境省内に新たに設置した有識者委員会の指導・助言をいただきつつ検討を重ね、再発防止対策を取りまとめました。

引き続き、関係者のご意見をいただきつつ、有識者委員会の指導・助言の下、再発防止策を徹底してまいります。

9月25日に取りまとめ、公表した再発防止対策（案）については、鮫川村仮設焼却炉監視委員会より、二度と事故を起こすことのないよう、徹底的にリスクを抽出し、再発防止対策を充実させるべき等のご意見をいただきました。

このため、環境省内に新たに設置した有識者委員会の指導・助言をいただきつつ検討を重ね、改めて施設全体を総点検しました。その上で、今回の事故の教訓に基づく再発防止に加えて、その他の事故につながると考えられる危険源に対応し、事故の発生防止に万全を期すため、追加的に実施する余地のある対策を含めて、「主灰コンベア破損事故の再発防止対策」を取りまとめました。

1. 事故の再発を防ぐ多重の安全対策

主灰出口及びプラグ形状の改良に加えて、主灰排出プラグの位置確認をして位置ずれを防止する装置を追加します。

また、二重化するゲート間に温度計を設置し、所定の温度まで冷却されていることを確認し、主灰の温度が高い場合には窒素封入を行い、確実に消火します。さらに、ゲート上部の空間にガス検知器を設置して、万一所定の濃度以上の未燃ガスを検知した場合には、窒素封入を行うことで確実に消火し、未燃ガスの発生を抑止します。

2. 運転管理体制の強化

人為的なミスを未然に防ぐために、マニュアルや作業要領書、点検リスト等を見直すこと、また、経験豊富な指導者による教育・訓練を実施し、習熟度を確認することを明記しました。

3. 事故の発生防止に万全を期すための追加改良対策

施設全体を総点検し、今回の事故の教訓に基づく再発防止の観点に加えて、その他の事故につながると考えられる危険源を網羅的に洗い出しました。その上で、事故の発生防止に万全を期すため、追加的に実施する余地のある改良対策を整理しました。

その基本的な考え方として、「設備」、「対象物」、「人的要因」の3つの視点を設定し、危険源の洗い出しと対策の立案を行いました。

※ 詳しい資料は、以下の環境省ホームページ 指定廃棄物処理情報サイトをご参照ください。

[福島県鮫川村における実証事業]

<http://shiteihaiki.env.go.jp/04/03.html>

[福島県鮫川村での実証事業における主灰コンベア破損事故について]

<http://shiteihaiki.env.go.jp/samegawa/>